

広報 かわぐち

No. 216
平成3年 10月

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

10月は「高年齢者雇用促進月間」

高年齢労働力の有効活用を

本格的な、高齢化社会の到来を迎え、活力ある社会を維持していくうえで、高年齢者の雇用就業の場の確保が最重要課題となっています。

そのために、
★60歳定年を基盤とした65歳までの継続雇用の推進
★高年齢者の早期再就職の促進
★定年退職後等の臨時的、短期的な就業の場の確保
など、積極的な取り組みが必要とす。

深刻な、労働力不足の中で高年齢者の雇用について、一層の御理解と御協力をお願いします。

ハローワーク小千谷・小出では、継続雇用制度導入奨励金をはじめ高年齢関係各種助成金制度等の相談をお待ちしています。
○ハローワーク小千谷
☎(〇二五八) 八二―二四四一

腎臓バンクの登録にご協力を

腎臓移植は、欧米諸国では広く行われています。特に、アメリカでは年間約一百万例を数え、その成功率も年々向上しています。そして、移植された四分の三の腎臓は、遺体から提供されたものです。

「献腎」が広く普及しているアメリカでは、死後、腎臓病で困っている人たちに、腎臓を提供するシステムが整っています。そして、こうした腎臓提供者によって、多くの患者が救われているのです。日本でも腎臓移植が行われてきましたが、平成元年末までに約七千件、年間でも約七百件しか移植手術が行われていません。しかも移植された腎臓の過半数は、遺体からのものではなく、患者の肉親（親子や兄弟など）からの生体腎臓移植によるものです。もし、あなたが腎不全患者への移植のため、死後に腎臓を提供したいとお考えになったときは、腎臓バンクの登録にご協力ください。満六十五

◆町民文化祭作品募集◆

展示期間 11月2～3日 AM9時～PM5時
会場 福祉センター
部門 絵画、書道、写真、彫塑、工芸、手芸、菊花
申込み 11月1日までに教育委員会へ
☎(89) 3111
搬入 11月1日 AM9時～PM1時
搬出 11月4日 AM9時～12時

歳以下の方なら、だれでも登録できます。
詳しいことは、県の保健・医療担当課(腎不全対策担当)または腎臓バンクへお問い合わせ下さい。

平成四年度 生徒募集

- 一、募集定員(訓練科)
 - 建築科 二十名
 - 左官科 二十名
- 二、応募資格
 - 中学校又は高等学校卒業以上(平成四年三月卒業予定者含む)
- 三、年齢 三十歳以下の者
- 四、訓練期間 二カ年
- 五、募集期間
 - 平成三年十月七日(月)から平成三年十一月五日(火)まで
 - 六、選考日時
 - 平成三年十一月二十二日(金) 午前九時から
- 六、選考日時
 - 詳細については当校へお問い合わせ下さい。
 - ☎(堀之内)〇二五七九 四―二四一〇

平成三年十月七日(月)から平成三年十一月五日(火)まで



「放水訓練」 魚野川左岸で
9月1日 町消防団総合演習

人口	6,433人	平成3年9月20日現在
男	3,144人	
女	3,289人	
世帯数	1,525戸	

おもな内容	平成2年度町の決算.....	2～6	みんなのコーナー.....	11
	ジュニアリーダー研修.....	7	スポーツコーナー.....	12
	敬老会、長寿をお祝い.....	8～9	少年の主張、地区大会で奨励賞.....	13
	町消防団総合演習.....	10	お知らせコーナー.....	14～16

平成二年度 町の決算

活力と安全快適で 豊かな郷土づくりに向けて

一般会計 29億9400万円

平成二年度(昨年度)の決算がまとまりました。現在、九月二十四日(火)から開かれている町議会九月定例会で審議が行われています。

決算は、一会計年度(四月一日から三月三十一日まで)の収入、支出の結果の実績を示す町の家計簿でもあります。

そこで、皆さんから納めていただいた税金や、国から交付される地方交付税、国・県からの補助金など、町の収入がいくらか入ってどう使われたかを、表やグラフで示しながら、平成二年度の決算のあらましをお知らせします。

限られた財源を 最大限に活用

町の台所は、決して裕福ではありませんが、平成元年度から段階的に、固定資産

税の税率の引き下げ(百分の一・八から今現在百分の一・四)を行うとともに、昨年度は、法人町民税の税率を百分の十四から百分の十三に軽減

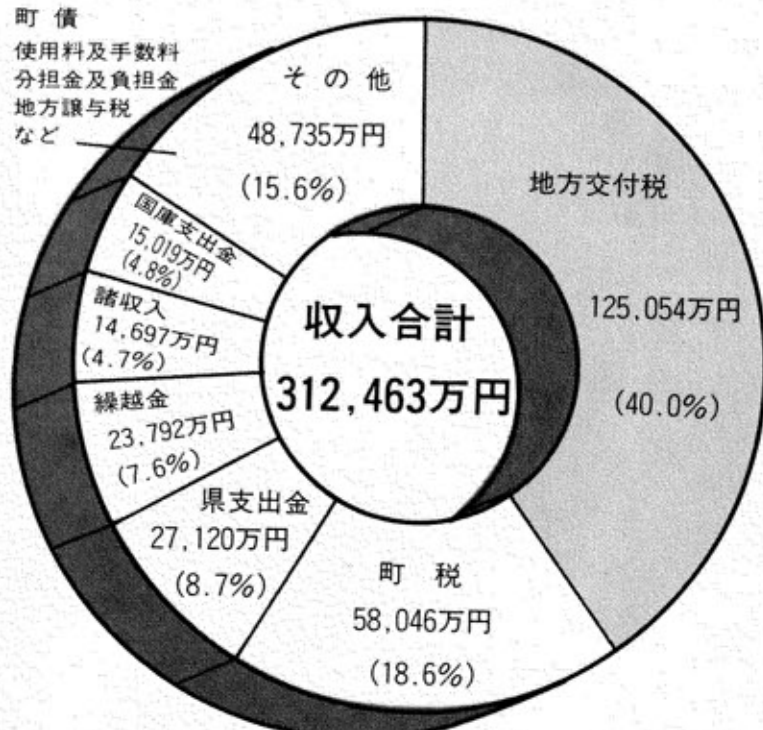
するなど、減税を行いながら平成二年度も限られた財源を最大限に活用し、活力があり、安全快適な郷土建設に向けて、「生活環境」の整備をはじめ、生活基盤の整備、「うるおいのある環境」の整備など、分野におけるいろいろな事業を行ってまいりました。

お、町の会計は、道路や河川をはじめ克雪対策、学校施設、農業基盤、そして、商工・観光の振興やコミュニティ施設、福祉の充実など…

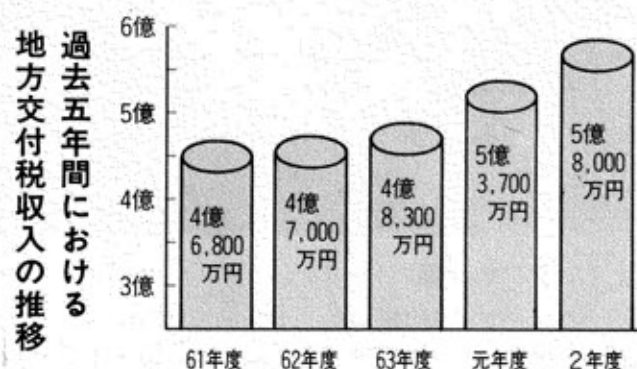
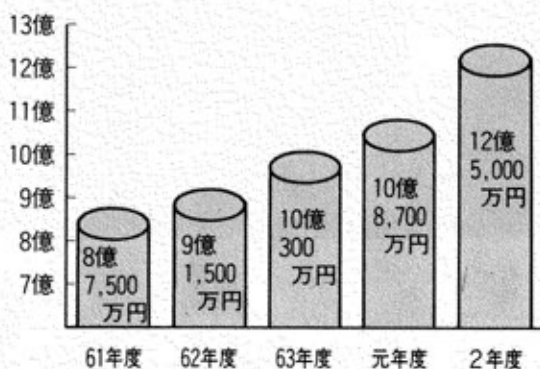
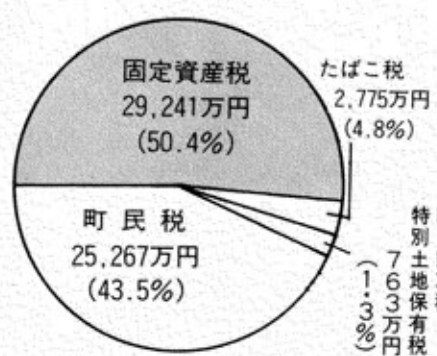
…行政の各分野の事業を行う「一般会計」と、国民健康保険や水道・下水道・ガス事業など、特定の事業を行うための「特別会計」と「ガス事業会計」とに分れていますが、その一般会計を中心に見てみます。

1億2,725万円の黒字決算 健全財政を堅持…

平成二年度の一般会計は、収入(町に入ったお金)が31億2,463万円で、支出(町が使ったお金)が29億9,457万円、そして、翌年度に繰越した事業に使うお金が2億8,725万円、黒字決算です。



町税の内訳



過去五年間における町税収入の推移

過去五年間における地方交付税収入の推移

0万円となり、差し引き1億2,725万円の黒字決算となりました。

これを前年度と比べてみると、収入は3億5,957万円(13%)増え、支出は4億6,743万円(18.5%)増えています。

えた主なものを見ると、収入では、国から交付された「地方交付税」が1億6281万円、観光施設(キャンプス川口)等の使用料収入が4360万円、町税収入が4294万円、国の補助金が3474万円などとなっています。

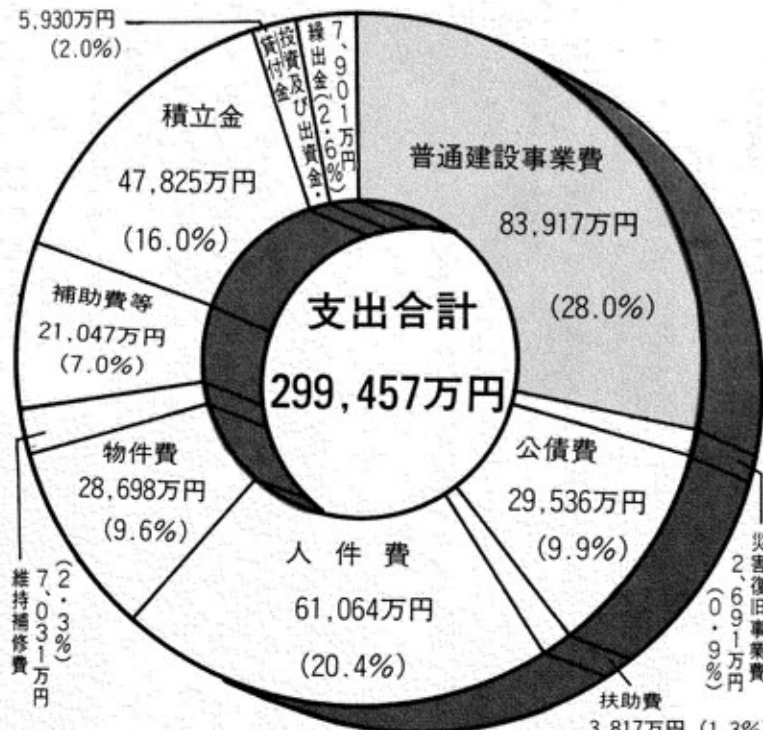
支出では、地域個性形成事業(観光施設整備)をはじめ、道路整備、克雪対策、農村環境・農業基盤などの建設事業費や災害復旧事業費が1億2573万円、施設の維持補修や人件費、物件費などが1億1,464万円、起債(借入金)を返すための減債基金や社会資本の整備のための公共施設整備基金などの積立金が2億2,725万円などとなっています。

また、収入と支出を平成二年度末日の世帯数(一、五一七世帯)で割ってみると、一世帯当りの収入が205万円、支出が197万円の計算となり、約8千円の黒字ができたこととなります。

また、皆さんも家庭で、家計簿をつけながら、無駄な経費の節約や将来に備えて貯金をしたり、いろいろとやりくりをしたり、工夫したりして良い家計づくりに努めているのではないのでしょうか。

その健全な財政運営をしていくものには「人件費比率」、「経常収支比率」、「公債費比率」が重要な指標となります。

最も低い数値となりました。健全財政を堅持しながら、町では二十一世紀に向けて、豊かさを創造する条件整備(定住構想)を更に進めるため、町政の指針「人間性豊かな調和のとれた活力のある温かい町づくり」をかかげて、各分野の定住環境整備を大きく進めています。



費目別の支出状況 ()内の額は1世帯当たり換算平成2年度末 1,517世帯

農水産・商工労働費 (19.0%)	569,606千円 (375,482千円)	農・商・工振興産業基盤の整備など
土木・消防災害復旧費 (19.6%)	587,971千円 (387,588千円)	道路改良舗装、小千谷地域広域組合負担金など
公債費 (9.9%)	295,364千円 (194,703千円)	借入金の返済金
総務費 (30.2%)	905,471千円 (596,883千円)	企画及び町を運営するための一般事務費、基金積立金等(諸支出金含む)
民生・衛生費 (13.4%)	400,440千円 (263,968千円)	各種検診、老人福祉、保育所費
教育費 (5.8%)	173,117千円 (114,118千円)	小・中学校や給食、社会教育にかかる経費
議会費 (2.1%)	62,606千円 (41,270千円)	議会の運営に関する経費

主な事業

生活環境の整備

◆道路の改良・舗装(三十一路線)

- 松沢線改良(一二五m・国庫補助事業) 荒谷居平線(二四三m)、大形峠線(八〇m)、牛ヶ島西川口線(一六八m) 他十三路線改良総延長一、三八六m。
- 中山竹田線舗装(二八三m・国庫補助事業)、松沢線舗装(四〇四m・国庫補助事業)、

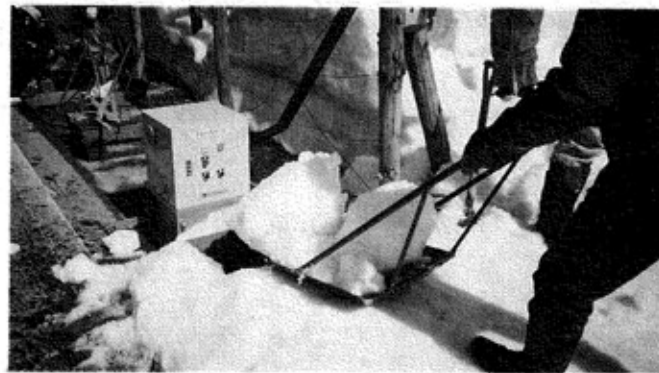


▲荒谷居平線 (荒谷地区で)

小貫線舗装(二七二m)、川岸線舗装(二九五m) 他十路線舗装総延長二、四七二m。 総事業費一億六、五九二万円。

◆克雪対策

- 克雪タウン整備共同事業 (国庫補助事業) 市街地(東部地区)における屋根雪、道路雪の処理をスムーズに行うため、流雪溝にブースターポンプを設置し、流雪溝の機能を高め、雪処理の効率化を図る実験事業。 ブースターポンプ二台、小型破砕機五台他、総事業費二、四〇〇万円。
- 凍雪害防止事業(流雪溝・消雪パイプ) 原新田線流雪溝設置(九六八m・国庫補助事業)、西倉桑巻線流雪溝設置(二三一m・国庫補助事業)、小丸山線消雪パイプ設置(四九六m) 他三路線、消雪パイプ設置総延長一、〇三九m、総事業費一億一、〇四〇万円。
- 克雪住宅資金貸付 克雪住宅(融雪・落雪・耐雪方式)の新築又は改良を行う方に、その建築資金の一部の融資と利子補給(補助)を行う町独自の制度(昭和六十三年



▲流雪溝に小型破砕機を設置

度からスタート)。

平成二年度利用件数は五件 貸付金額一、〇〇〇万円。なお、平成二年度までの利用件数は二十二件で貸付総額四、一〇〇万円となっています。

◆河川改修

前島堰、裏田堰、前島排水路改修(東部地区)、総事業費三八七万円。

◆下水道の整備

●特定環境保全公共下水道事業(国庫補助事業)東部地区平成二年度から本格的に工事が着工され、五年後の平成

七年度一部供用開始に向けて工事が進められています。

東川口汚水幹線管渠布設開削(六九七m)、ガス・水道管移設(六〇三m) 舗装(付帯工事)及び汚水枝線実施設計調査委託他、総事業費一億二、六二三万円。

◆消防防災対策

- 防火水槽(一基) 武道窪
- 消火栓(十一基) 八郎場三基(新設) 貝之沢三基(新設) 鷺巣一基(新設) 東部一基(改良) 西川口三基(改良)
- 小型動力ポンプ(一台) 総事業費七三〇万円。

◆公共土木施設災害復旧

道路三件、総事業費一、七二一万円。

生活基盤の整備

◆農村環境と農業基盤の整備

- 農村基盤総合整備事業(国庫補助事業) 上川地区 暗渠排水及び水路改修(十二又地区他)及び相川集落排水、農道改良、集落道相川線舗装他、総延長三、一六五m。 木沢地区 ほ場整備及び農道舗装(日

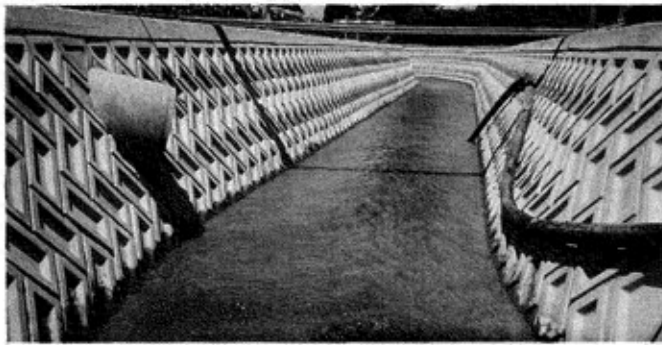


▲日影地区ほ場整備 (木沢市内)

影地区)三・三ha、五三六m。 総事業費一億二、二六七万円。

●団体営かんがい排水事業 (国庫補助事業) 前島用水路改修(六六九m) 総事業費一、四九二万円。 ●県単農業生産基盤整備事業 (県補助事業) 西倉地区農道整備(法面保護二、〇一〇m)、相川口及び田麦山、横根下地区水路改修(七九七m)、総事業費一、四五〇万円。

●特用林産地地形成総合対策事業(国庫補助事業) きのこ生産作業場一棟及び機械・設備一・〇式他、総事



▲貝之沢排水路改修 (貝之沢市内)

- 集落開発センター建設事業 山ノ相川団地一棟(木造二階建、八四・二八㎡) 総事業費八九七万円。
- 地域農林業観光提携促進対策事業(国庫補助事業) ふるさと交流及び体験農園、特産品販売用陳列棚等、総事業費二〇一万円。
- 水田農業確立対策事業 転作目標六九・三ヘクタールに対して七〇・八ヘクタールを達成、達成率一〇二・一%。
- 地域農政推進対策事業

業費一億七四三万円。

農地流動化促進、農地銀行活動、都市と農村交流促進、構造政策推進活動など。 ◆農林水産施設災害復旧 農道二件、水路二件、林道一件、総事業費九二七万円。 ◆都市と農村交流事業 ●ふるさと便 都会の皆さんに、町の特産品(山菜、アスパラ、メロン、コシヒカリ、草もち、鮎の昆布巻)などを年四回直送。 心ふれあふふるさと便として都会の人達から喜ばれている。 現在、会員数(利用者)一六八人。

●イベント交流

ふるさと友好都市「狛江市」や板橋区で物産店を開催。婦人みこし(町商工会婦人部)川口あり太鼓(川口小)が狛江市民祭りに参加。又ワンパク駅伝で交流。

●農業振興祭

●町商工会補助

うるおいのある環境の整備

◆滞在型家族旅行村

●キャンパス川口開村 町は、(国建設省)の観光レクリエーション地区として選



▲滞在型家族旅行村「キャンパス川口」の開村を祝う

定され、昭和六十年、県の家族旅行村の指定を受け、昭和六十一年度から建設が進められ、平成元年度に同村が完成。これと既存のスポーツ施設とレクリエーション施設などを合わせた「野外学習のむら」づくりが拡充された。 このむらは、町のユートピア構想(野外学習のむら・生涯学習のむら・原始古代むら)の三つのむらづくりの中核をなすもので、滞在型家族旅行村の核の一つの完成を祝って愛称を「キャンパス川口」と命名し、平成二年九月、キャン



▲「ハーブ園」

ンパス川口の開村式が盛大に挙行された。

●地域個性形成事業(国庫補助事業)

町の木・花の「植栽」、「ハーブ園」、「メロディーボックス」、「ホテルの宿」など、ふれあい交流の杜が、キャンパス川口に完成。安らぎと潤いの場として誘客に大きな期待が寄せられている。 総事業費七、七〇〇万円。 ●野外学習のむら施設拡充 ファミリーゴルフ場(改良、照明工事他)、ピクニック広場(駐車場造成工事及び整備)など、総事業費四、〇一五万円。

福祉・健康

- 精神障害者、腎臓機能障害者医療費助成
- 特定疾患、精神障害者交通費助成
- 父子手当
- 住民検診
- 予防接種
- 家庭奉仕員の派遣
- 人間ドック助成
- 肺ガン検診
- 町民体育祭、町民ハイキング、町民雪まつり、各種スポーツ大会
- 献血事業



▲「健康教育」



▲小、中、高校生が1つのグループで行動

この研修は県教育委員会が主催、県下の小学生、中学生、高校生を対象に、チャーターした一万トンの客船ユートピア号の洋上での船中研修、船で北海道各地をまわって社会見学や体験活動などを行い、視野を広めたり、自主性・実践性を培って、リーダーとして

平成三年度の、新潟県ジュニアリーダー研修「海のつどい」は、八月十九日から七日間北海道で行われ、当町の三人を含む県内の小中学生四百人が参加しました。

交流体験を重ねて

リーダーの資質を高める

の資質を高めることをねらいとしています。当町からは、小中学生の三人(写真)が参加しました。研修は新潟港で出航式、宿泊はすべてユートピア号の船中泊で、夜間に船の運行で習日道内各地の港に上陸する方法がとられ、高校生をサブリーダーに小中学生を混成の八人班編成で行動、地元小中学

～ジュニアリーダー研修～

北海道で体験活動

小中学生3人が参加



川口中2年 堀沢清香さん



川口小6年 浅間敏一さん



川口小6年 真島文恵さん

研修に参加して 堀沢清香 新潟港に着いた時は、なにもかもが、初めての体験ばかりで、不安と緊張がいりまじり、複雑な気持ちでした。友達にはできるだろうか。高校生のリーダーは、どんな人だろう……。



▲初めての乗馬体験

「さよならパーティー」は各分団ごとにスタンツを行いました。なんと私たちの分団が優勝したのです。心に残るパーティーでした。 このような貴重な体験の機会を与えてもらい、ありがとうございます。研修での体験をこれからの学校生活に生かしていきたいと思ひます。

北海道では、班活動を中心に活動しました。新聞作りやレクリエーションがありました。船上での生活に慣れていなかったためか、協力できなかった面もありましたが、なんとか完成したし、より一層友情が深めあえたのではないかと思います。 また、小樽市や稚内市の小中学生との交歓会、釧路体験別コース、札幌フィールドワークなど、たくさん活動がありました。その中で、集団活動におけるリーダーの役割や、大切な心構えなど学ぶことができました。

しかた、新しい友達がたくさんできたと話してくれました。また、清香さんから次の手記が寄せられました。

しかし、班の人とはすぐ仲よくなれたし、班長もとてもやさしい人だったので、これからの研修が楽しみになりました。

国民健康保険

収入 2億9,293万円 支出 2億7,683万円



老人保健

収入 3億2,401万円 支出 3億2,401万円



簡易水道事業

収入 2億51万円 支出 1億9,073万円



下水道事業

収入 1億3,988万円 支出 1億3,649万円



ガス事業

収益的収支 収入 1億4,995万円 支出 1億4,500万円 資本的収支 収入 403万円 支出 4,744万円

特別会計

国民健康保険

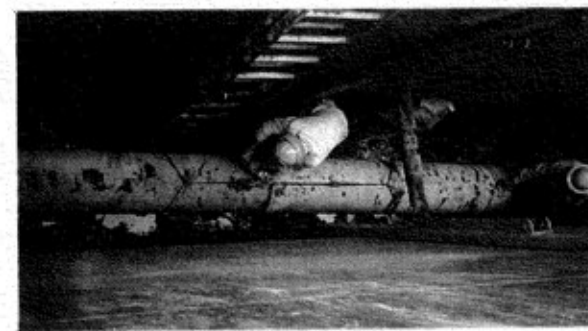
- 加入世帯 七一五 被保険者数 一、九二六八 一般被保険者数一、七七〇 人(うち老人保健医療給付対象者三七二人)退職被保険者等一五六八

簡易水道事業

- 給水戸数及び給水人口 一、四四四戸、五、六三〇人 普及率 九四・四% 一戸当たり一ヵ月平均使用料 七、八一四円

ガス事業

- 供給戸数 一、五五一戸 ガス販売量 一、三二二、七六九立方メートル



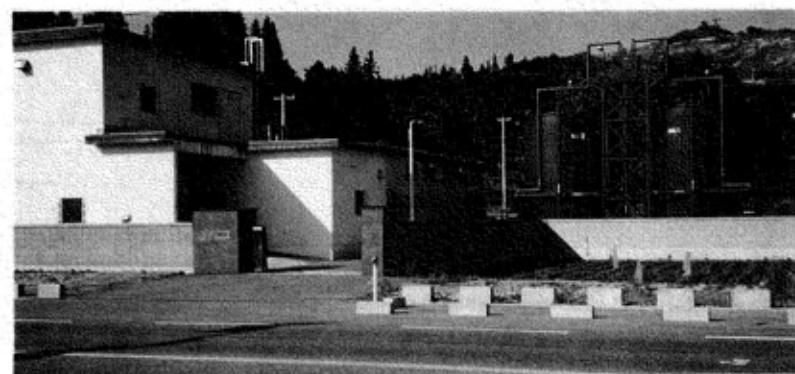
▲下水道の早期供用開始を目指して「下水道管布設工事」

老人保健

- 対象者 七十歳以上の者 七四三人 六十五〜六十九歳の障害者十三人。

下水道事業

- 特定環境保全公共下水道事業(東部地区)総事業費一億二、六二二万円(再掲)



▶「中央簡易水道」

町の財産

区分	施設名	建物面積	施設名	土地面積
行政財産	学校・保育所他	34,103㎡	学校・公園他	468,597㎡
普通財産	教員住宅他	1,243㎡	山ノ相川跡地他	1,015,341㎡
簡易水道	中央簡易水道他	438.87㎡	中央簡易水道他	3,955㎡
ガス	各地区ガバナー室	164㎡	各地区ガバナー室	1,697.23㎡
国民健康保険	医療施設	493㎡	医療施設	1,137㎡
合計		36,441.87㎡		1,490,727.23㎡

平成2年度の町の姿(平成3年3月末現在)

面積	50.03km ²	小学生	579人
人口	6,416人	中学生	289人
道路延長	123.5km	出生	79人
し尿	2,699.46㎏	死亡	65人
ごみ	1,482.82t	転入	87人
給水人口	5,630人	転出	112人
保育園児	245人	結婚	102人

住所	氏名	年齢	世帯主	住所	氏名	年齢	世帯主
小高	笹崎キク	101	義高	中山	古田島ヨシ	91	博
中新田	山田ナカ	97	萬平	大形	大淵トク	91	重信
岩出原	岡村マツ	95	隆好	川口5	岡村コヤ	91	隆一
中新田	関トメ	94	正一	相川1	星野マサ	91	富幸
前原	涌井シゲ	93	加一郎	川口5	関末之助	90	本人
武道窪	綱富子	93	喜由	川口1	大淵宥澄	90	本人
相川2	広井フジ	93	律子	大形	佐藤常	90	正勝
大形	小川キイ	93	博	川口3	中林キク	90	精二
川口1	阿部サノ	93	高吉	荒屋	佐藤ハツ	90	三男
新敷	山田タノ	93	已之吉	八郎場	小林ミツ	90	富一
木沢	星野カネ	92	幸一郎	川口1	内藤金六	90	正雄
川岸	小西トル	92	宇根イツ子	岩出原	岡村松太郎	90	チヨ
相川1	鈴木作蔵	92	猛	川口5	渡辺マツイ	90	三太郎
上河原	関亀太郎	91	龍馬	新敷	小宮山ヨキ	90	一明

(敬称略)

長寿慶祝

九十歳以上の皆さん

ジムに通ったり、健康器具を使ったりすることだけが体を動かすことではありません。次に挙げるようなことで、運動を日常生活のなかに取り入れるようにしてみたいでしょうか。

なお、運動量の目安は1日約200キロカロリー。これだけの運動量を得るには、それぞれのくらの時間やればよいのかの目安もここで挙げておきます。



毎日の通勤や買い物での歩行とは別に、自ら進んで歩くことがポイントです。

歩くことによって消費するエネルギーは、1分歩くのに体重1kg当たり0.05kcal、急ぎ足で0.10kcal程度です。体重70kgの人が普通のスピードで20分歩けば、約70kcal消費される計算になります。1日、200kcal消費するには、普通に歩いて約1時間、急ぎ足で約30分歩けばよいことになります。

階段の上り下り



いつものスピードより、早めに上り下りしてみたいでしょうか。

日常生活のなかに運動を取り入れよう



激しく動きまわる子どもと一緒に遊ぶのも、なかなかエネルギーを使うものです。



走ることによって消費するエネルギーは、毎分、体重1kg当たり、軽いジョギングでは0.15kcal、ランニングで0.20kcal程度です。1日、200kcal消費するには、ジョギングで約20分、ランニングで約15分です(体重70kgの人の場合)。



これまで多年にわたって社会に貢献してこられたお年寄りを敬愛し、長寿をお祝いする「敬老の日」を迎えて九月十二日、総合福祉センターで、

敬老会



長寿をお祝い

町の長寿ナンバーワン 百一歳 笹崎キクさん(小高)

七十五歳以上の方を招いて敬老会が今年も盛会に行われた。

圧倒的に女性が長寿

今年の敬老会該当者(七十五歳以上)は、昨年より十二人多い四百九十六人。このうち百歳以上が一人、九十歳代が二十八人、七十五歳から八十歳代までが四百六十七人。これを男女別にみると、女性が三百二十四人で男性の百七十二人を大きく上回り、女性二人に男性一人の割合、さらに九十歳以上だけを見ると、女性が二十二名、男性が六人と、圧倒的に女性が長く、女性の長寿ぶりがうかがわれる。また、昨年より二人多い十七人の方が米寿を迎えられ、八組の方が金婚を迎えられた。町の長寿ナンバーワンは百



▲「敬老会」で挨拶を行う青柳町長

一歳の笹崎キクさん(小高)。そして次に九十七歳の山田ナカさん(中新田)、九十五歳の岡村マツさん(岩出原)と続き、いずれも女性。男性の長寿最高は九十二歳の鈴木作蔵さん(相川一)。



なお、この敬老会に先立ち九月四日、青柳町長は九十歳以上の方々を訪問し、長寿をお祝いしました。

健康がすべて

この日、福祉センターには該当者の八割近い約四百人が出席。元気なお年寄りの人たちで会場はいつぱい。お互いの健康を祝うとともに、青柳町長をはじめ、郡社会福祉事務所長、町議会議員から祝福を受けた。

この中で、青柳町長は、長年にわたって尽力されてきたお年寄りの皆さんに感謝し、長寿を祝うとともに、「健康がすべて、健康に十分注意して元気にお過ごしください」と述べ、「敬老会は若者がえつて若い人にハッパをかけようという会」と呼びかけ、どしどし申して、今日まで培ってきた知識と経験を生かし、社会に役立てていただきたいと願った。更に町づくりについて述べ、その中で、現在田麦山地区において建設が行われている高齢者生産活動施設について語り、「潤おいと安らぎを持ちながら、同活動施設に



▲アトラクション(町民踊研究会の皆さん)



参加していただき、皆さんが持っている知識を出していただきたい」などと述べ激励した。このあと、米寿と金婚を迎えられた方に、お祝状と記念品が贈られ、町民踊研究会によるアトラクションを皆さんで楽しんだ。



▲立派に主張し「奨励賞」を受賞した山田さん。

山田さんは、「ボランティアのあり方を学ぶ」ことだと自覚し、将来は外国でボランティアをして、アフリカやアジアの子どもの様子や生活を学びたい。これからは、自分なりに思っている考えが正しいかどうか確かめたい。と発表してくれました。

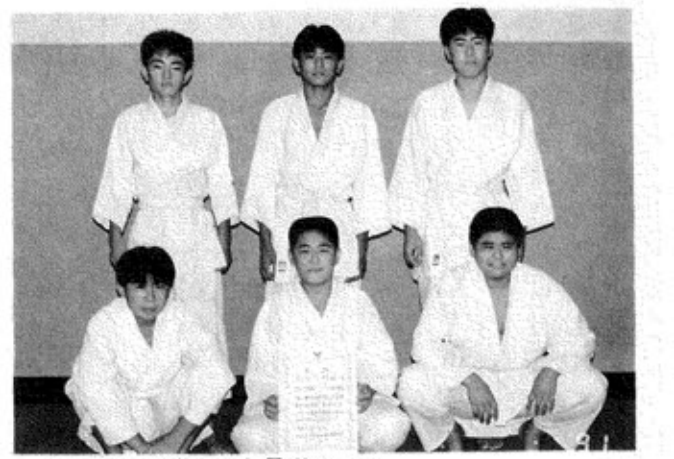
六花園でボランティアのあり方を学ぶ

香代利さんは、「ボランティアのあり方を学ぶ」ことだと自覚し、将来は外国でボランティアをして、アフリカやアジアの子どもの様子や生活を学びたい。これからは、自分なりに思っている考えが正しいかどうか確かめたい。と発表してくれました。

第十二回新潟県少年の主張小千谷北魚沼地区大会が小千谷市民会館で開かれ、川口中学三年山田香代利さんが奨励賞となりました。少年の主張は、中学生が日々考えている社会や家庭、自分について清新で前向きな意見を発表するもので、管内中学校の代表十二人が熱弁をふるいました。

少年の主張 地区大会で奨励賞 山田香代利さん(川口中)

IA活動を通して思うこと」と題して、堀之内の障害者施設六花園での奉仕体験から、ボランティアに対する考え方が変わったこと、障害者を誤った見方をしていたことに気づき、自分の思い上がった考え方がはずかしかつたと話し、障害者の方が、ひたむきに太鼓をたたかすばらしい演奏、野菜の出荷作業では逆にこちらが教えられ、前向きに精いっぱい生きていくその力強さにおどろき、ボランティアとは「してあげる」のではなく、「一緒に同じことをして自分も学ぶ」ことだと自覚し、将来は外国でボランティアをして、アフリカやアジアの子どもの様子や生活を学びたい。これからは、自分なりに思っている考えが正しいかどうか確かめたい。と発表してくれました。



▲県大会入賞の少年柔道チーム

少年柔道県大会(スポーツ少年団)

中学生チームが三位に入賞



スポーツの町宣言

第十一回スポーツ少年団柔道新潟県大会で、当町から出場した中学生チームが三位に入賞する活躍をしました。県大会は八月二十五日に上越市の総合体育館で行われ、川口から中学生の部にA、Bの二チームが出場、Bチームが三位になったものです。中越地区の予選大会ではAチームが二年連続の一位、Bチームが二位という立派な成績を残し、県大会ではBチームが大健闘して入賞をはたしました。

川口の少年柔道は小学生、中学生に分れて毎週一回の練習を続けて最近実力をつけ県内でも上位にランクされるようになっていきます。川口柔道会として初の県大会入賞に指導に当る関係者をよろこばせています。Bチームのメンバーは次のとおり。

- 渡辺 祐也 一年 川口四
- 小見 聖仁 三年 川口四
- 浦井 貴志 二年 前原
- 堀沢 茂之 二年 前原
- 浦井 武志 一年 前原
- 渡辺 茂 一年 竹田



▲幼児の体力づくり運動の実技

幼児の体力づくり運動 保母さんなどが 勉強!! 社会体育担当者、保母や幼稚園教諭、体育指導委員などを対象にして九月十二日にキャンプバス川口で開催され、上中越地区から大勢の人が受講しました。この研修は体力づくり新潟県民会議が主催、県と川口の



▲青柳町長(特別講師)をお迎えして

生涯学習をめざして 研究集会 中越地区社会教育委員 中越地区の社会教育委員がサン・ローラ川口を会場にして、「豊かな生涯学習社会の形成をめざして」をテーマとする研究集会を開き、関係者百二十人が参加しました。中越地区の社会教育委員連絡協議会が主催し、川口の社会教育委員が実行委員会を組織して主管となり運営を担当したものです。

中越地区社会教育委員

生涯学習をめざして 研究集会

研究集会は、生涯学習社会をつくるために各地域における社会教育委員の果すべき役割、望ましい対応などについて討議され、参加者は生涯学習の体制づくり、家庭の教育力の高め方、充実した社会教育委員の活動についての三分科会を行い、今日的課題を熱心に話し合っていました。また、当日は青柳町長が特別講師に招かれ、「新世紀への歩みを確かなものにするために」と題する、生涯学習時代を見とおしての町づくりについての記念講演がありました。

'91スポーツフェスティバル!! 少年少女陸上競技大会

秋晴れの九月二十一日(日)、第一回町内少年少女陸上競技大会(川口まつり協賛・'91スポーツフェスティバル)が、中山高原のキャンパス川口陸上グラウンド(第四種公認)で、大勢の少年少女が参加して開かれ、新記録が続出するなど大会は盛り上がり、今年の最優秀選手賞に、星野麻美子(川小五年)さんと桜井祐一(川中一年)くんがそれぞれ選ばれた。

最優秀選手賞	小学の部	星野麻美子
	中学の部	桜井祐一
優勝者は次の通り。	(新) 一新記録	
◆男子		
小学5年	100m	15'6 (新) 岡村 英
	走幅跳	3m88 (新) 村山 達
小学6年	100m	14'7 (新) 森関 潤
	走幅跳	4m35 (新) 関 潤
中 学	100m	13'2 (新) 関 潤
	400m	1'1'3 (新) 関 潤
	1500m	4'56'2 (新) 関 潤
	走幅跳	4m74 (新) 宮山 裕
	砲丸投	10m45 (新) 桜井 祐
◆女子		
小学5年	100m	16'6 (新) 星野 麻
	走幅跳	3m65 (新) 星野 麻
小学6年	100m	16'0 (新) 真島 文
	走幅跳	3m80 (新) 内山 田
中 学	100m	15'6 (新) 山田 泰
	200m	31'6 (新) 山田 泰
	1500m	5'44'5 (新) 丸山 尚
	走幅跳	3m94 (新) 丸山 尚
	砲丸投	8m16 (新) 丸山 尚

主催/町体育協会 主管/町陸上競技協会

川口中が優勝

郡内中学校の新人による小出ライオンズ杯中学新人親善野球大会が小出で開催され、川口中野球部がみごと優勝をかざりました。新人大会は、三年生が第一線から身をひき二年生と一年生だけのチームで行う大会です。新人チームはこの学校でも守備が不安定で試合が荒れています。川口中チームは打力を生かして勝ち進んだとのこと。先に、十日町市を含む三魚沼のNTT旗中学野球大会でも、川口中チームは二十チーム中ベスト八に入っており、これから実力をつけて来年が楽しみです。小出ライオンズ杯大会の成績は次のとおり。

- 一回戦(五回コールド) 川口中22 対 6 守門中
- 二回戦 川口中9 対 8 湯之谷中
- 三回戦 川口中16 対 6 小出中

農林水産

10月20日(日)

振興まつり

町特産品 (えのきたけ・モロヘイヤ) 工夫展
ふるさと料理

芸能ショー・抽せん会
宝船値段あてなど **盛沢山**

催しもののご案内

会場/福祉センター通り他

式典・うまい米試食会……農業会館

- 受付 10:00~10:30
- 式典 10:30~12:00
- うまい米試食会 12:00~

⊕農産物品評会と大売出し 9:00~ 福祉センター前

⊕各種コーナー

- 牛肉・豚肉即売 9:00~14:00 福祉センター前
- 植木・苗木 8:00~14:00 福祉センター前 (林産物含む)
- おでん 10:00~ 福祉センター前
- 焼肉 10:00~ 福祉センター前
- 焼ソバ・モツ煮 10:00~ 福祉センター前

⊕えのきたけ・モロヘイヤ 工夫展
ふるさと料理 10:00~16:00 文化会館前

⊕手芸展 9:00~14:00 文化会館前

⊕サービスコーナー

- 飲みもの(酒・牛乳) 10:00~ 福祉センター前
- ポン菓子・綿菓子 保育所前

⊕アトラクション……福祉センター

- 芸能ショー・抽せん会 13:00~15:30

ご家族おそろいで
おでかけください。
お待ちしております。



- ⊕巨大カボチャ重さあて 9:00~14:00 福祉センター前
- ⊕宝船値段あて 福祉センター前
- ⊕錦鯉品評会 9:00~15:00 役場前広場
- ⊕モチツキ大会 12:00・15:30 (2回) 文化会館前



学校田で稲刈

川口中



▲なれない手つきで「稲刈り」に挑戦

九月十七日、川口中で学校田の稲刈りが行われ、生徒たちが労働に汗を流した。これは、農作業を通して、作る喜びやお互いに協力し、物事をやりとげる気持ちの大切さと、勤労の尊さを学び、そして、農家に対する理解を深めようと、昭和五十七年から行われているもので、春の「田植」、秋の「稲刈り」、はぎかけ、作業を生徒全員で行っているもの。

春に植えられた稲も立派に育ち、この日、生徒たちは、額に汗を流し、たわわに実った稲の一株、一株を鎌で刈り取り、田んぼ仕事に精を出していた。そして、十一月の同校の収穫祭で、自分たちが作った米でごちそうし、みんなが収穫の喜びを分かちあい、収穫を祝います。

秋の行政相談週間 十月十三日~十九日

行政相談員は

みなさんの身近な相談役

合同相談所を
開設し広く
受け付けします

十月十三日~十九日の一週間は、「秋の行政相談週間」です。期間中は、各種の行政相談活動を、集中的に行うことにしています。行政で困っていることや悩んでいることがあればぜひご相談ください。そこで、この週間に合わせて人権擁護委員(中村孝彰、内藤益郎)、心配ごと相談委員(桜井仁夫)の出席をいただき、広く受け付けいたしますので、お気軽にお出かけください。相談は無料で、秘密は厳守されます。

● 期日 十月十八日(金)
午前九時~十二時

● 場所 末広荘(老人憩の家)
行政相談委員 金子 真
行政相談委員は、総務庁長官が民間の有識者の方にお願い



いし、委嘱するものです。昭和三十五年、住民が行政への要望や苦情を気軽に相談できる窓口として、開設されました。行政相談委員は、あなたの暮らしと行政をつなぐ「パイ役」として活躍しています。

なお、行政相談員は第三者の立場から公正な判断を行います。要望や苦情の解決に取り組んでいます。行政に対する意見や要望で、どこに相談したらよいか分らないときは、行政相談委員に直接相談してください。

また、手紙や電話でも受け付けていますので、気軽に利用してください。(相談は無料で、秘密は厳守されます)

秋の結婚シーズンともなれば、あちこちの結婚式場で「三三九度の杯を交わす」新郎新婦が多くなります。

「三三九度」は大・中・小三組みの杯で、三度、杯をやりとりすること。吉数とされる奇数の三を重ねたためだといふ。献杯の儀式は、昔から、出陣するときや婚礼の際に行われ、「三三九献」とか「三種三献」とも呼ばれてきました。

スポーツの応援などでみられる「三三七拍子」の拍手は、三・三・七回ずつ手をたたくもので、三も七も吉数ということになります。

仏教でいう「三三の品」は、極楽浄土に往生するものが、生前の行いによって受ける九つの段階「九品」のこと。上品・中品・下品を、さらに上生・中生・下生に分けたもので、上品上生から下品下生までの九段階になっています。

「九品仏」は、九品に分けた九体の阿弥陀仏。江戸時代は、それを安置した寺へ参詣する「九品参り」が盛んでした。極楽へ行きたいという庶民の願いが強かったことの表れでしょう。



三三九度